

# 柳迫校区の文化財

## 1 遺跡について

「深川は、後迫の中心平(ちんびら)から壺が出たことがあるというが行方が分からない。後迫の大塚からは縄文土器、石斧、鍬が出るし、その付近の赤土からも出る。柳迫校の前方「野中ノ原」、国原の唐人塚付近からも縄文土器が出る。」と末吉郷土史に記述がある。以前から土器や石器が確認されていたようである。

## 2 賀茂(加茂)神社

末吉町深川字宮脇2212番地(柳井谷)

賀茂大明神を祀っている。

建設は元禄9(1697)年で、享保3(1718)年再興。

現在の社殿は、大正10年改築。



賀茂神社

## 3 天照大神社

末吉町深川(後迫)

天照大神を祀っている。

創建年月は不詳。「朝廷方の人がここへ神様を持ってきた」との言い伝えから南北朝時代か？

祭神は木像7体で、他に狛犬、川猫など神楽に使った面が数個ある。

昔は浜下りもあったらしい。

例祭日は12月20日、六月灯は7月20日で、昔からにぎやかであった。



大楠



天照大神社



牛馬供養塔

## 4 下市のお伊勢さま

後迫集落の字坂元に元の神社跡がある。天照大神の上らしい。

元の神社の名前は不明であるが、近くに「やくさん馬場」という所があり、流鏝馬をしていたと考えられる。

七人三郎といわれる七体の石像があったらしい。この石像の打ち四体は、寺屋敷といわ

れている重田国盛さん方の屋敷内に集められている。この石像は、男性像2体、女性像2体で、周辺の畑から鏡も見つかっており、神社のものと考えられる。



後迫集落の石像群

## 5 田の神

堂園集落の南側, 谷沿いにある水田を望む台地の縁に, 曾於市指定文化財である『深川の田の神』が鎮座している。

背面には安永6 (1777) 年と刻まれている。典型的な農民型で, 堂園集落には, 以前は『田の神舞』も存在していたと末吉郷土史には記載されている。



## 6 高之峯の神社

赤い鳥居の金峰神社がある。その横に割れが入った女陰形の岩がある。三角点は丸い芝生のところにある。ここに高之峯神社がある。その横に石の祠があり, 陶器の牛が供えられている。牛馬の守護神のようである。



金峰神社の御神体

大木の脇に「一向宗法難者記念碑」がある。鹿児島藩は一向宗を禁制にしていたが, 隠れ念仏衆が処罰されたのだろう。

## 7 馬頭観音

近世以降は国内の流通が活発化し, 馬が移動や荷運びの手段として使われることが多くなった。これに伴い馬が急死した路傍や芝先 (馬捨場) などに馬頭観音が多く祀られ, 動物供養塔としての意味合いが強くなっていった。なお「馬頭観世音」の文字だけ彫られたものは多くが供養として祀られたものである。



馬頭観音

## 8 五輪塔

後迫集落にある。鎌倉時代のものであるようだが, 今後詳しく調査する必要がある。

- 【参考文献】末吉郷土史 第3版 昭和62年  
末吉郷土史 第4版 平成18年  
曾於市文化財ガイドブック 平成24年

